

一小的校内研修(一人1授業・中期指導主事学校訪問 授業研究会)

道徳科の学習

令和3年11月19日(金) 第2校時 3年3組

<主題名> 本当の友だち 資料「ないた赤おに」

<学習について>

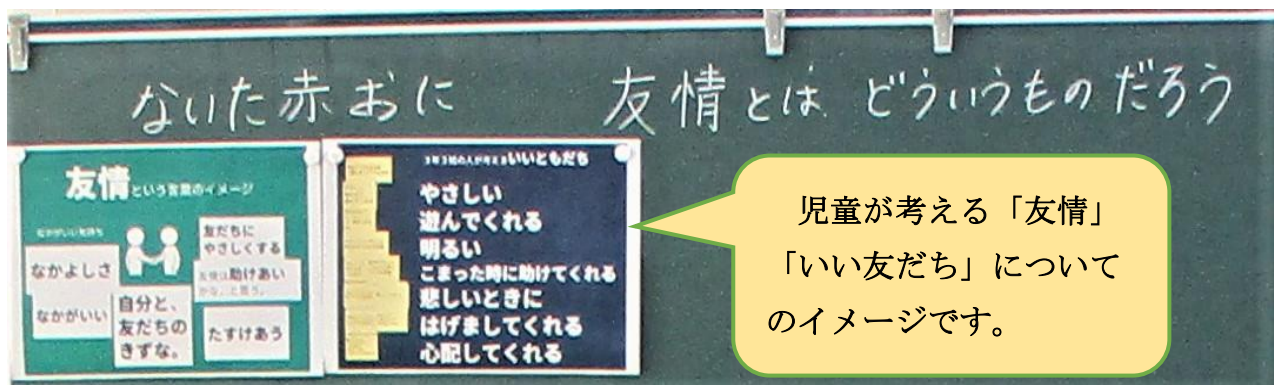
この学習は、次のような力を育てることをねらいとしています。

友だちと信頼し助け合うことについて、赤おにと青おにの気持ちを考えることにより、互いを認め合いよりよい関係になろうとする心情を育てる。

資料「泣いた赤おに」は次のような話です。

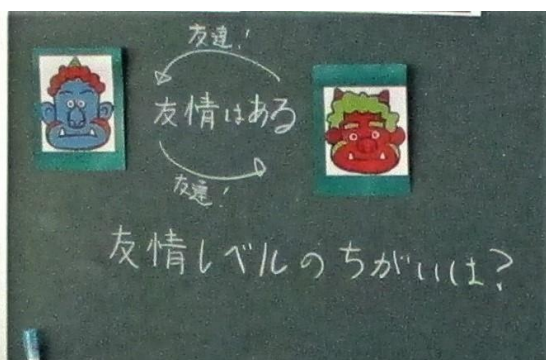
人間と仲良くなりたい赤おに。そんな彼をみて青おには、ある提案をしました。人間の前でぼくが暴れるから、赤おには、ぼくをやっつけてと。2人は人間の前で芝居を打つことになりましたが…。

活動1 友情についてのアンケート結果から、友情について考え、学習課題をつかむ。



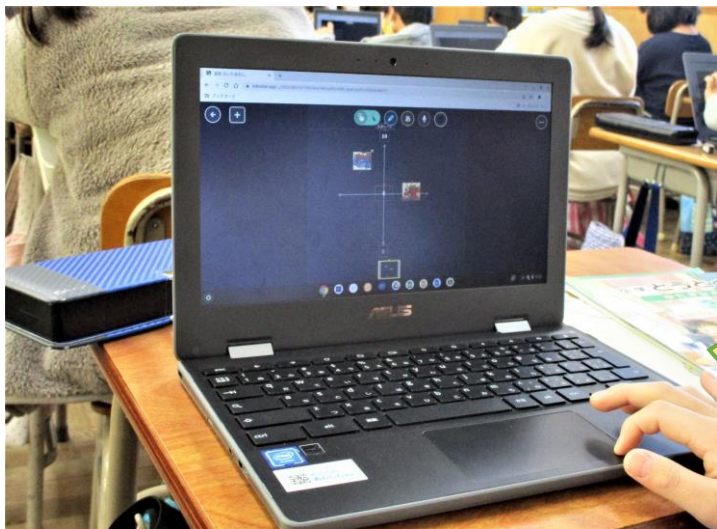
事前のアンケートを取り、それをもとに「友情とはどういうものか」話し合いました。ここから資料をもとに、友情について深く考えていく学習です。

活動2 「ないた赤おに」を読んで、友だちを思いやる心について話し合う。



資料を読んで、児童は「赤おにと青おにはどちらも優しさがある」ことをとらえていました。

しかし、相手を思う気持ちには違いがあります。そこで、次に、その違いを考えました。



タブレットに表示されているのは「友情チェックメーター」です。これで友だちの友情レベルを数値化して違いを明確にし、相手を思いやる心にも違いがあることをとらえていきました。



赤おにが、青おにが残した手紙を読んで泣いているときの思いを考え、タブレット上のカードに書いています。



一人一人の考えはテレビ画面に映し出されます。いろいろな見方・考え方を知ることができました。



活動3 友情について、これから大切にしたいことを考え、ノートに書く。



黒板を見ながら学習を振り返る姿をみることができます。友情についての考え方を広げる学習となりました。



授業研究会の様子です。指導主事はオンラインで参加しました。

